



Mission for Smile
～みんなに笑顔をお届けよう～

明治電機工業株式会社

2022年1月

会社概要・経営理念

コアコンピタンス

成長のロードマップ

成長戦略

業績推移・株主還元

会社概要・経営理念

社名	明治電機工業株式会社 MEIJI ELECTRIC INDUSTRIES CO., LTD.
本社所在地	名古屋市中村区亀島二丁目13番8号
創立	1920年（大正9年）7月
資本金	13億1,177万8千円
代表者	代表取締役社長 杉脇弘基
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部（3388）
連結従業員数	702名（2021年3月31日現在）
事業内容	<ul style="list-style-type: none">● 電気機器・計測器及び電気設備並びに自動・省力化用機能部品とその設備の販売及び輸出入業務● エレクトロニクス製品・各種検査装置・メカトロ・FA・情報・物流システムの開発、設計、製作● 計測・制御・情報処理のコンサルティング● 工業計器・電気計測器の保守
事業所	<ul style="list-style-type: none">● 国内：本社、四日市営業所、名古屋北営業所、豊田支店、豊橋営業所、東京支店、西東京営業所、東日本営業部、大阪営業所、福岡営業所、エンジニアリング事業本部、物流センター、名電エンジニアリング（株）、エム・ディー・マシナリー（株）● MEIJI CORPORATION：イリノイ、ミシガン、テネシー、ケンタッキー、ウェストバージニア● MEIJI UK LTD.：英バーミンガム、ハンガリー● 明治電機商業（上海）有限公司：上海、天津、広州● Meiji (Thailand) Co., Ltd.：バンコク



ステークホルダーの皆様から 「明治電機が大好きです」と言ってもらえる存在となるために

Supporting Industry Company

日本の「ものづくり」を強くする

事業
指針

信頼 —
すべては人から始まる

お客様と
共に

従業員と
共に

社会と
共に

経営
理念

100年で信頼を積み重ねた

100年以上の歴史の中で、製品の調達・開発、システムの構築などで、信頼を積み重ねてきました。

今、お客様自身も苦心されている

日本や世界は変革の波に直面し、当社の役割は一層重大になっています。

経営理念の実践

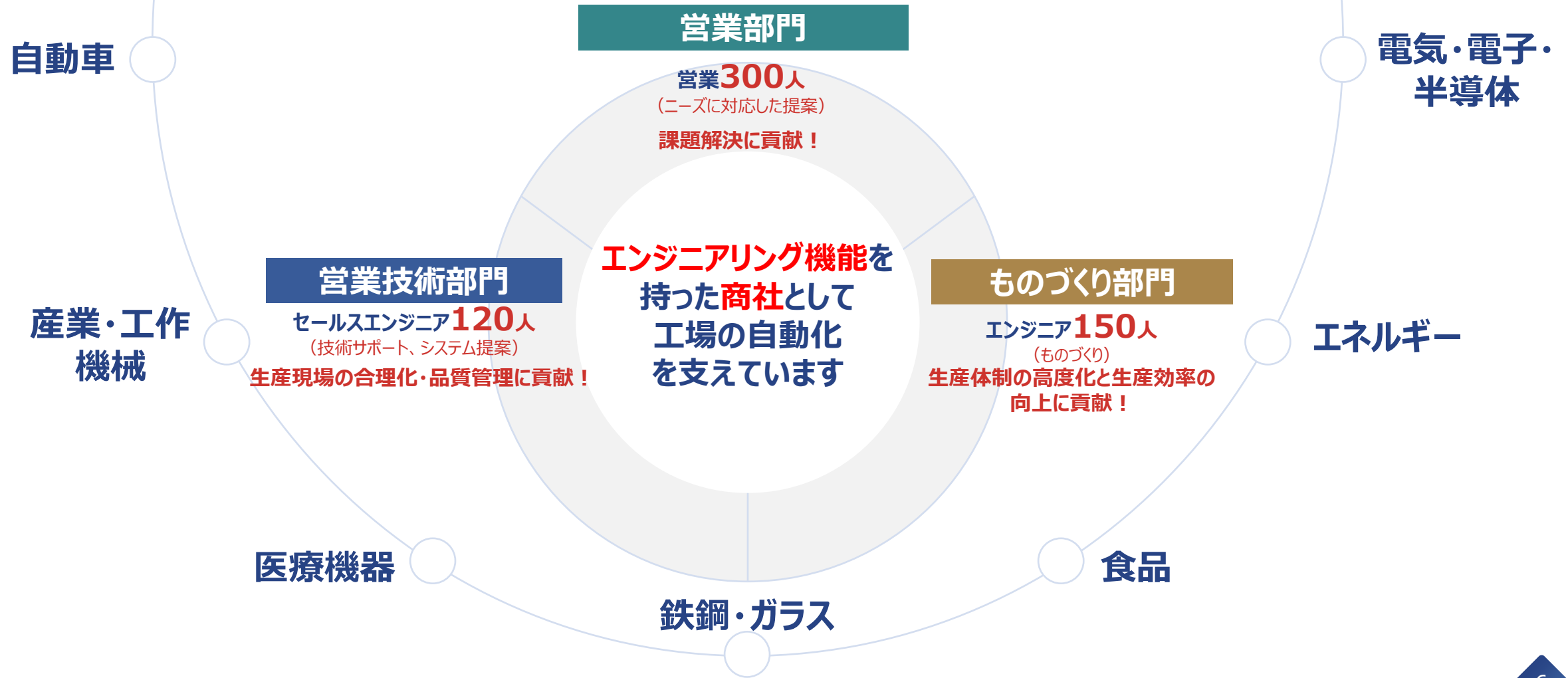
不確実な時代だからこそ、経営理念を実践する意義があります。

「明治電機が大好きです」を目指す

すべてのステークホルダーから「明治電機が大好きです」と言ってもらえる存在を目指しています。

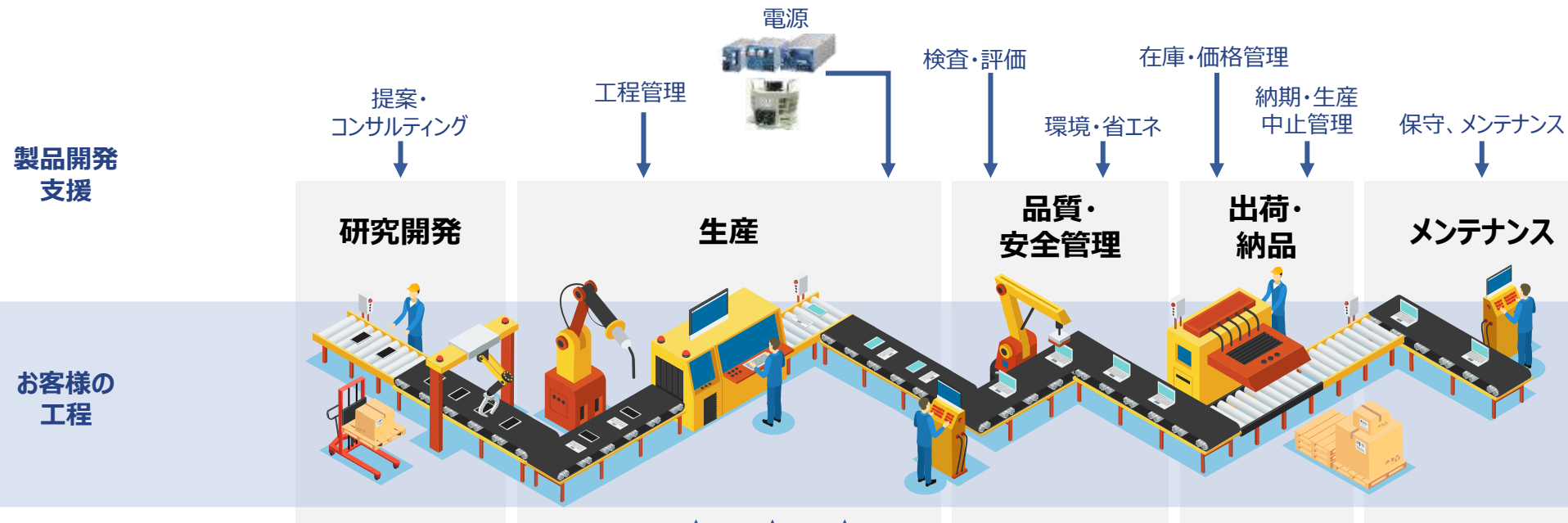
新たな価値創造・価値提供に取り組んでまいります。

工場の自動化を支える エンジニアリング機能を持った商社です



ものづくりの全工程をサポートする不可欠な存在

ものづくりの全工程をトータルサポートして競争力向上に貢献し、
必要不可欠な存在としての地位を確立



- 生産性向上
- 品質向上
- 環境負荷低減
- 安全性向上

エンジニアリング機能を持った商社に発展

「単なる商社は要らない」というお客様のご期待に応えるため FAのトータルソリューション機能を構築

祖業は電気材料の販売と モーターの修理(1920年)

- 1920年：合資会社明治商会を創業
(創業者：水野清二)
- 電気材料の販売とモーターの修理を開始



新事務所設立
(1946年)

ステージアップ¹： 商社機能を確立

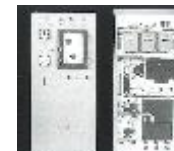
- 1939年：大型モーターの修理請け負う
(1000馬力のモーターの修理
で躍進) それに伴い、多種
多様な商品の供給を開始
- 1959年：立石電機(現オムロン)と
特約店契約を締結
(調達ネットワークの確立)



モーター修理着手
(1939年)

ステージアップ²： エンジニアリング機能を確立

- 1952年：計装盤の自社製造を開始
- 1955年：制御盤の自社製造を開始
(発注先のキャパオーバーを
契機に自社製造へ着手)
- 1979年：明治エンジニアリング設立
(現エンジニアリング事業本部)
(エンジニアリング機能を確立)



計装盤
自社製造開始
(1952年)

ステージアップ³： トータルソリューションの提供

- 1987年：米国イリノイ州にMeiji Corporationを設立
(グローバル展開に着手)
- 1996年：名古屋市に物流センターを開設
- 1998年：英国バーミンガム市にMeiji UK LTD.を設立



明治エンジニアリング
(現エンジニアリング
事業本部) 設立
(1979年)



米国拠点設立
(1987年)



新本社ビル完成
(1999年)

ステージアップ⁴： ジャスダックに上場

- 2005年：ジャスダックに上場
- 2006年：中国天津市に明治進和(天津)機電工程
有限公司を設立
- 2007年：名電エンジニアリングを子会社化
- 2008年：タイ王国バンコクにMeiji Electric Industries
(Thailand) Co., Ltd.を設立



天津拠点設立
(2006年)

ステージアップ⁵： 100周年、そしてさらなる飛躍へ

- 2012年：中国上海市に明治電機商業(上海)
有限公司を設立
- 2012年：エム・ディー・マシナリー設立
- 2013年：東京証券取引所第二部に市場変更
- 2014年：東京証券取引所第一部銘柄に指定
- 2018年：エンジニアリング事業本部新社屋完成
(エンジニアリング機能を強化)
- 2020年：100周年
- 2021年：Vision2030に着手、土台作りの3年、
成長の3年、飛躍の3年へ



エンジニアリング事業本部
新社屋完成
(2018年)

お客様のグローバル展開をサポート

お客様企業のグローバルものづくり
をサポートするため、
1987年に米国に進出

以来着実に
グローバルネットワークを
構築

米国、英国、中国、タイの拠点が、
有機的に連携し、お客様の工場
立ち上げ、設備拡張・新設をサポート

英国現地法人

- ・バーミンガム（本社）

駐在員事務所

- ・ハンガリー・ブタペスト

中国現地法人

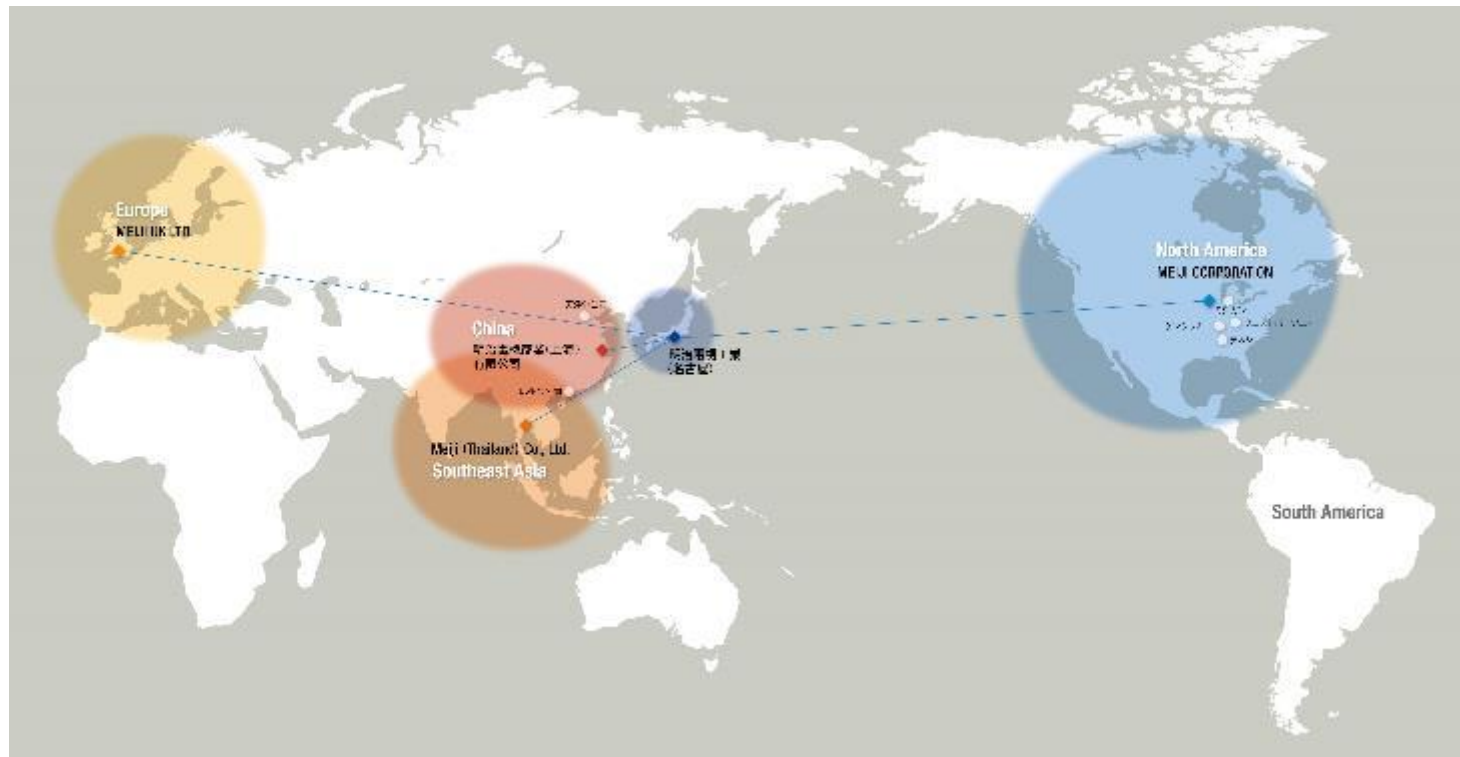
- ・上海

中国分公司

- ・天津
- ・広州

タイ現地法人

- ・バンコク



米国現地法人

- ・イリノイ（本社）
- ・ミシガン
- ・テネシー
- ・ケンタッキー
- ・ウェストバージニア

米国営業所

- ・オハイオ
- ・ノースカロライナ
- ・セントラルTN
- ・インディアナ
- ・アトランタ

コアコンピタンス

商社機能とエンジニアリング機能が最大の強み

最適なトータルソリューションをご提供

～製造現場の課題・ニーズを抽出し最適な解決策をご提供～

様々な産業を支援：自動車、電気・電子・半導体、産業・工作機械、食品、鉄鋼・ガラス、エネルギー

2つの強みの シナジー

商社機能

- 製造現場が抱える課題・ニーズの抽出
- 課題・ニーズに合った商品・サービスの提供
- 迅速・正確な物流サービスの提供
- 情報の収集、提供

エンジニアリング機能

- 検査装置、制御盤、機械設備および自社製品の開発・設計・製造
- 商品分野別 S E による最適なシステム（生産設備）の構築

サプライヤー基盤は2000社超

主要仕入先：
オムロン、横河電機、パナソニック、明電舎、アイエイアイ、高砂製作所、TDKラムダ、CKD、日置電機、シュナイダーエレクトリックホールディングス、デンソーウェーブ、オリエンタルモーター、エム・システム技研、日東工業、小野測器、ほか

営業部門
300人

明治電機が誇る技術部隊は 総勢270名

- ものづくり部隊（開発・設計・製造）150名
- セールスエンジニア（S E）部隊120名

営業技術部門
120人

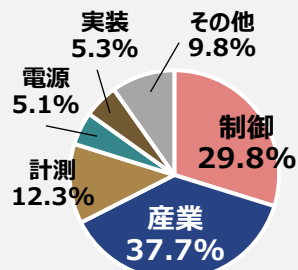
ものづくり部門
150名

強固な調達機能

豊富な商材

制御	プログラマブルコントローラ、プログラマブル表示機、センサ、測域センサ、画像処理装置、温度調節器、リレー、タイマ、カウンタ、スイッチ、インバータ、ID・バーコード・2次元コード、無線機器、変換機、産業用コンピュータ、ネットワークシステム、LAN・バス、コネクタ、基板用部品		産業	受変電設備、配電設備、変圧器、開閉器・遮断器、非常用発電機、電力制御・監視機器、防災・防犯、通信・音響・映像、空調、照明	
計測	オシロスコープ、レコーダ、ロガー、アナライザ、電力測定器、絶縁耐圧試験機、計測システム、トルクメータ、パネルメータ／変換器、現場測定器、プロセスコンピュータ、流量計、分析計		電源	システム電源機器、スイッチング電源、直流電源装置、交流電源装置、無停電電源装置、電子負荷装置、ノイズフィルタ、ボルトスライダ／スライダック／抵抗器	
ロボット・メカトロ	産業用ロボット、電動アクチュエータ、モーター、サーボモーター、電磁弁、シリンダー、空気圧システム機器、真空システム機器、インデックステーブル		実装	ソルダーペースト印刷機、接着剤塗布機、SMDマウンター（電子部品実装機）、N2リフロー炉、基盤搬送機器、印刷検査装置、実装検査装置、はんだ付け外観検査装置、X線検査装置、インサーキットテスター	

2,000社超の一流サプライヤーと契約



主要仕入先

オムロン、横河電機、パナソニック、明電舎、アイエイアイ、高砂製作所、TDKラムダ、CKD、日置電機、シュナイダーエレクトリックホールディングス、デンソーウェーブ、オリエンタルモーター、エム・システム技研、日東工業、小野測器、ほか

1 day delivery

名古屋物流センターを核に注文の翌日に納品



強み：エンジニアリング機能

主要サプライヤーの製品をキーにシステム化し、
必要に応じて自ら開発・設計・製造し、生産ラインを構築

ソリューションの流れ



エンジニアリング機能



1997

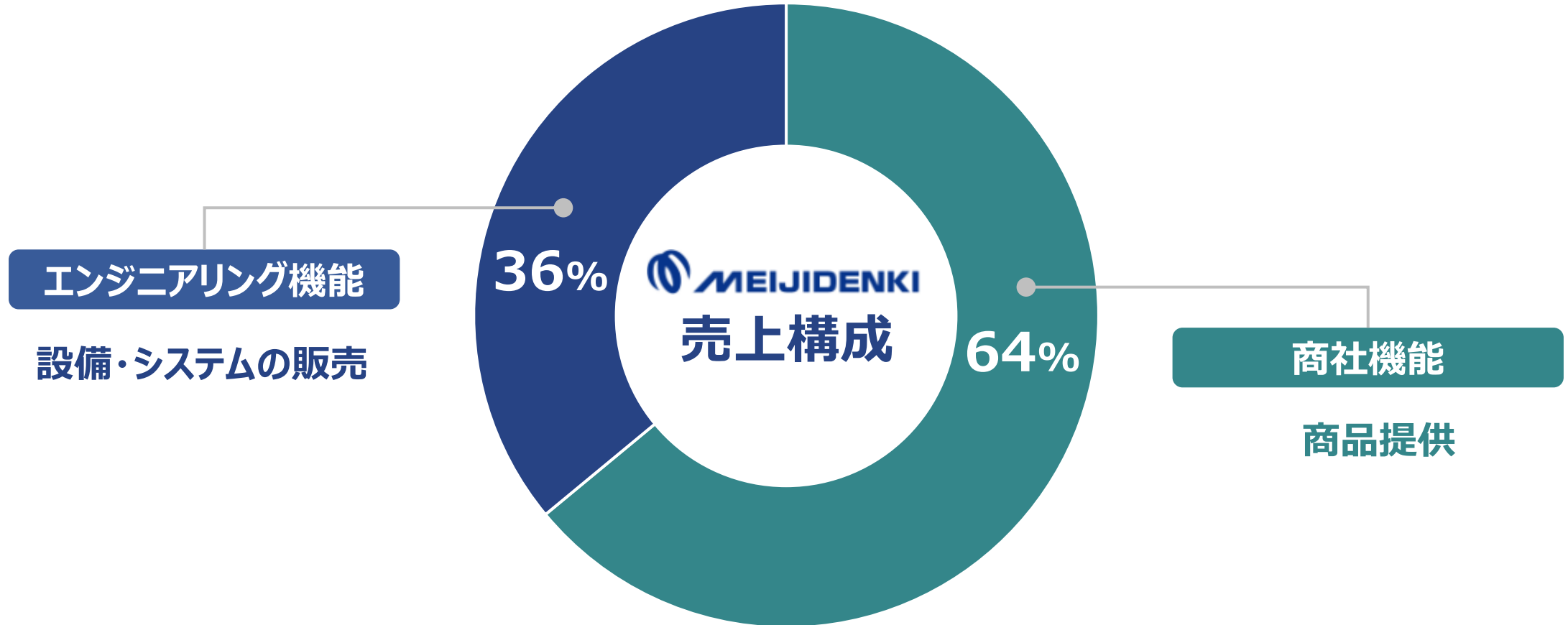
商品分野別営業体制
を構築

営業技術部門

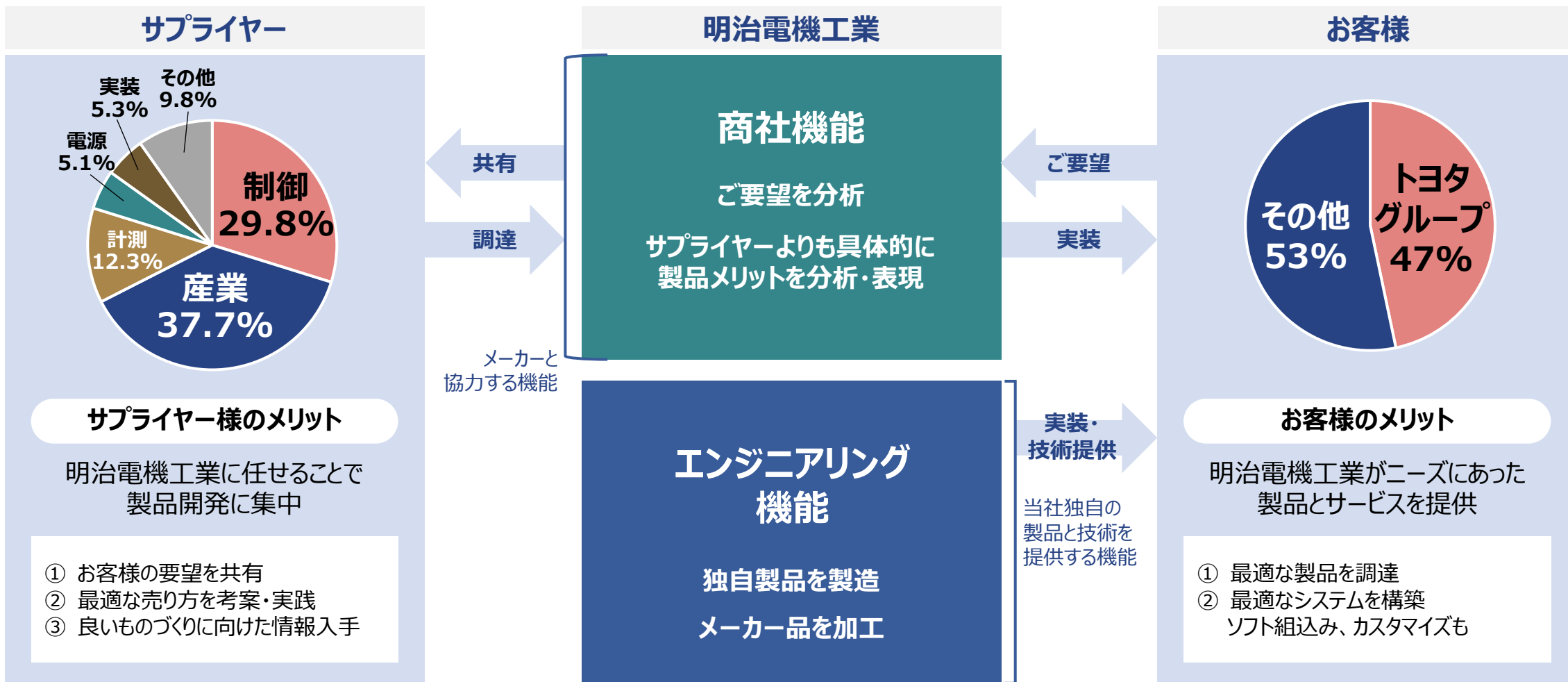


ものづくり部門

商社機能をベースとしながら、エンジニアリング機能で差別化



一流のお客様と一流のサプライヤー様の溝を埋めるのは、 明治電機工業の技術力と実装力



成長のロードマップ

すべてのステークホルダーに楽しさを感じてもらい

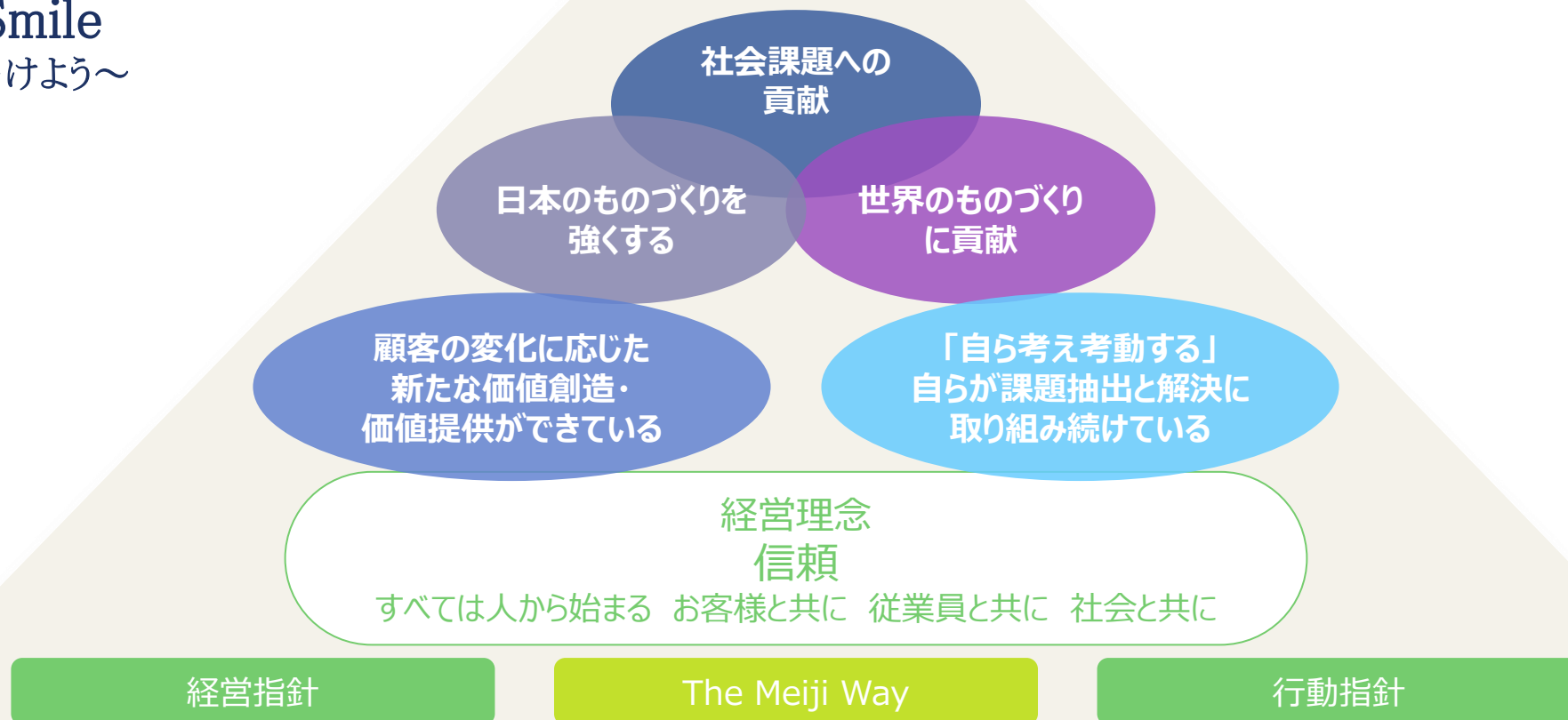
“明治電機が大好きです”

そう言ってもらえる存在を目指す

◇スローガン

Mission for Smile

～みんなに笑顔を届けよう～



不確実な時代で成長するためには既成観念からの脱却が必要、
そのため社員を鼓舞する大胆な目線（Vision）を設定

高い目線（Vision）で社内の行動変革へ

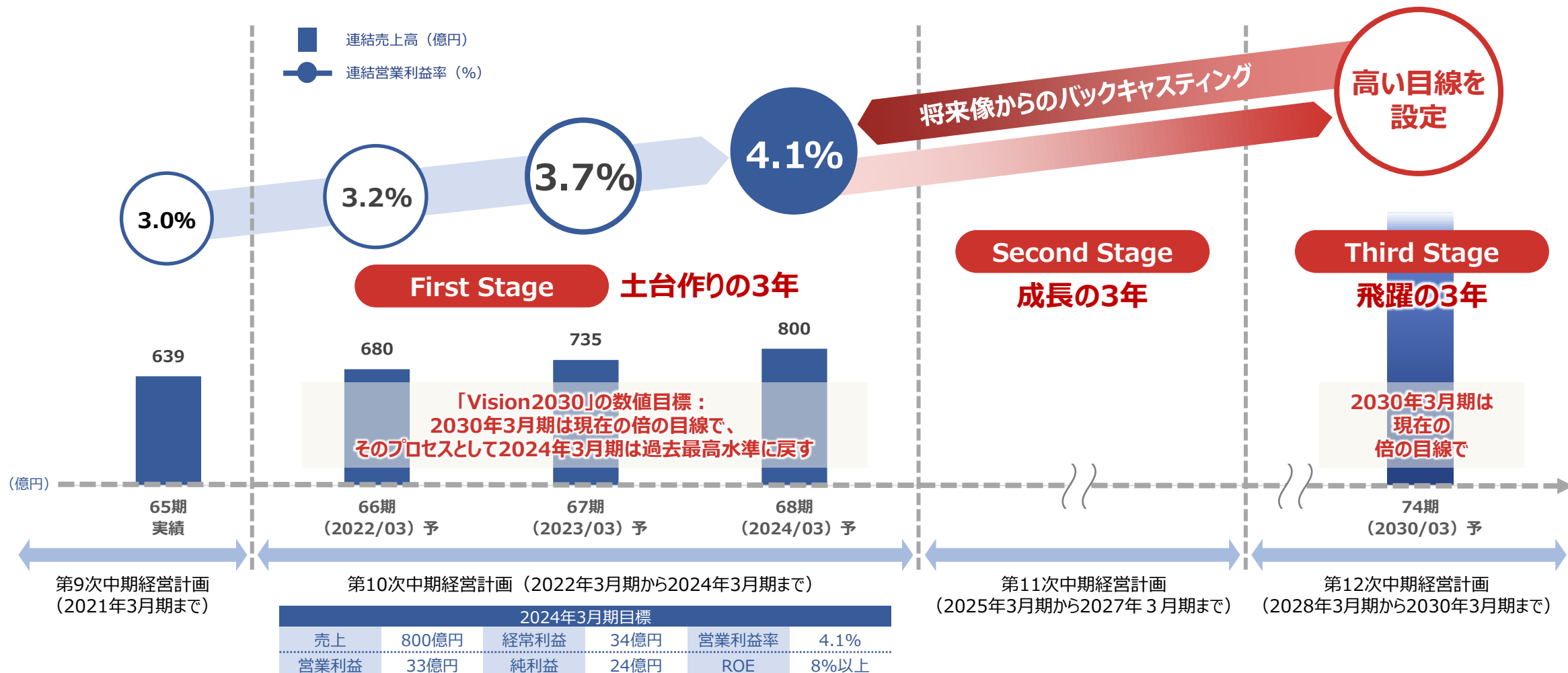
新しい目線 （Vision） の設定

- 既成概念からの脱却が必要
- 手堅い計画ではなく、大胆な目線（Vision）を設定、これが「Vision2030」
- その象徴として社内にあえてインパクトのある高度な売上高と営業利益率を目線として設定
- 短期ではなく、長期の視点で、バックカスティングで短期目標を設定

「Vision2030」でさらなる飛躍へ

行動変革を3つのステージで実践

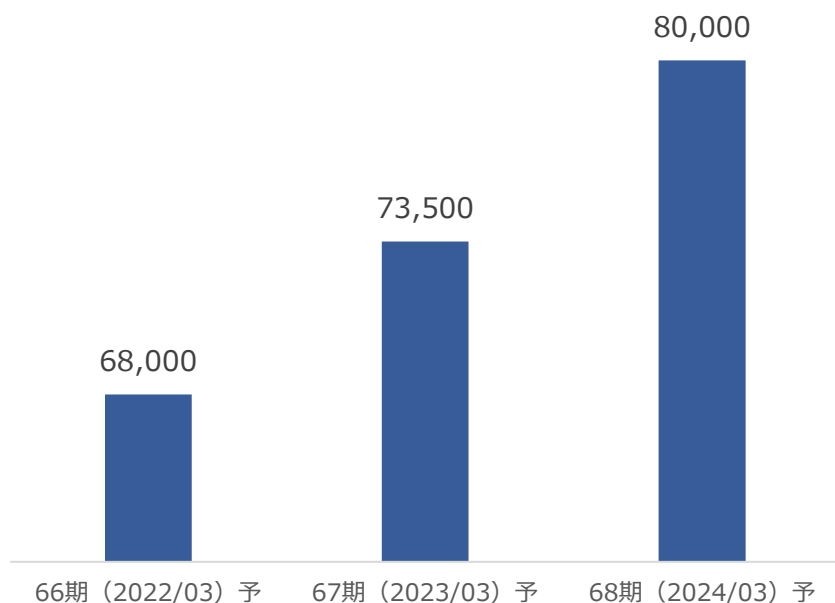
2013年東証二部上場以降の過去最高の売上高は829億円、営業利益率は5.3%（いずれも2019年3月期）



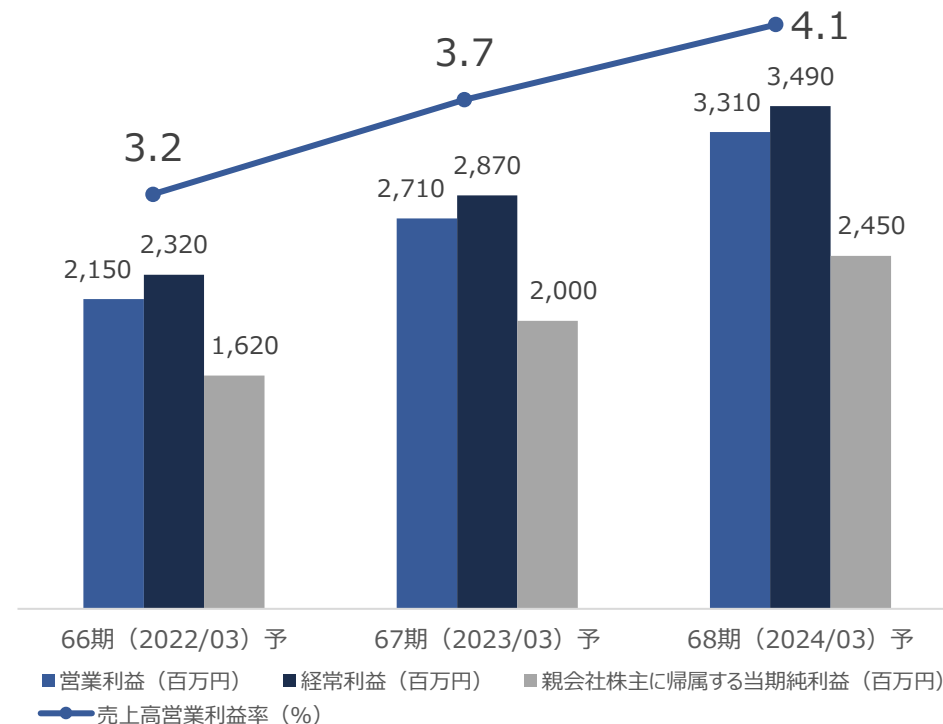
First Stage : 第10次中期経営計画で土台作り

第10次中期経営計画（2022年3月期～2024年3月期）は First Stageとして、土台作りに注力

連結売上高（百万円）



連結利益（百万円、%）



第10次中期経営計画最終年度
第68期（2024年3月期）目標

売上高	営業利益	経常利益	純利益	営業利益率	ROE
800億円	33億円	34億円	24億円	4.1%	8%以上

成長戦略

新たな100年で成長するために

これまでの100年の成長

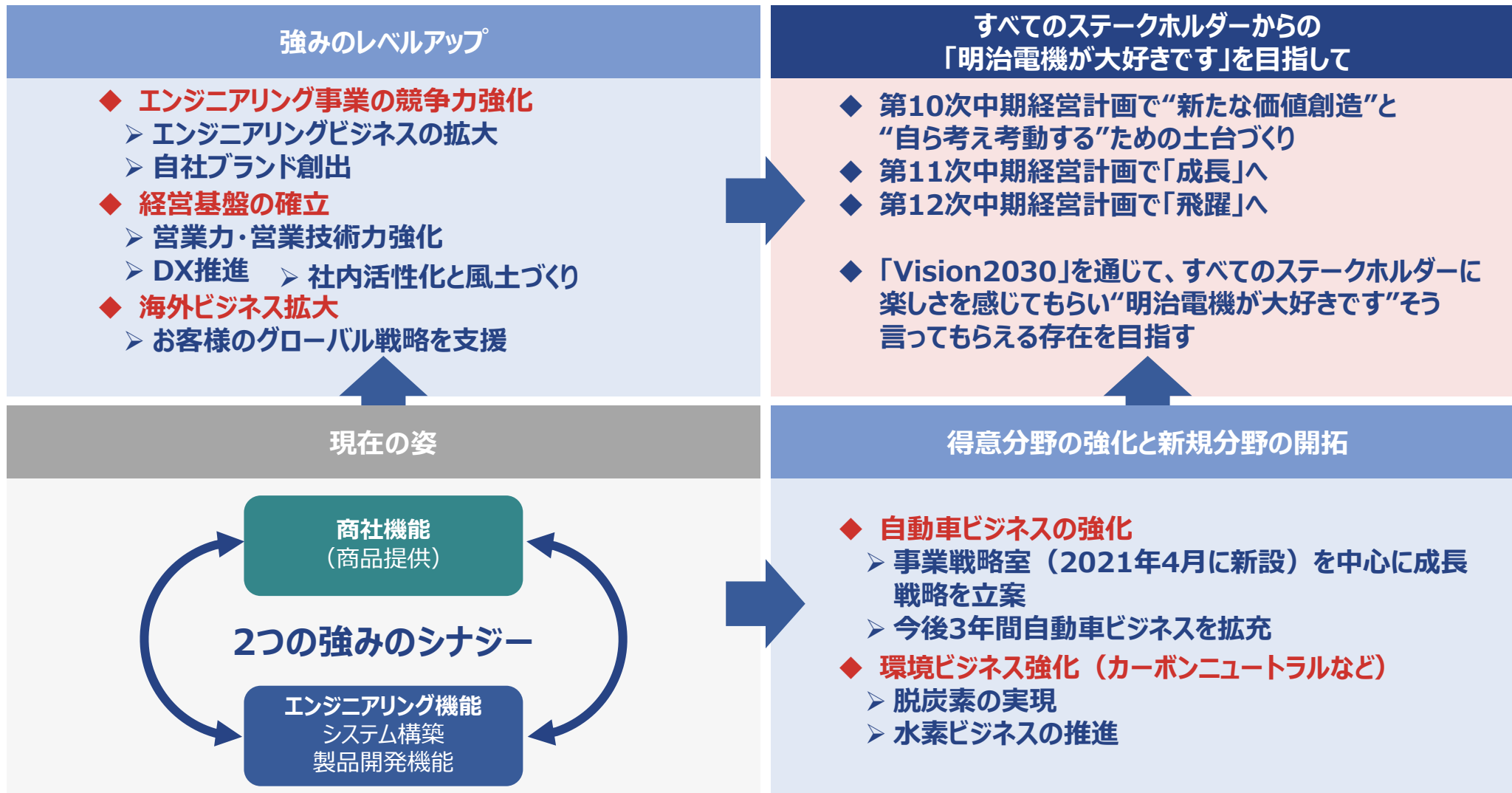
- お客様、サプライヤーの成長戦略に伴って成長してきた
- 業界は目指す方向性を知っていた



これからの100年の成長

- お客様、サプライヤーは、目指す方向性に迷いがある
- お客様、サプライヤーの成長戦略をリードしていく存在へ

強みの強化と新規分野の開拓で新たな発展のステージへ



お客様、サプライヤー様の成長戦略をリードする存在へ

自動車

■ 自動車ビジネス強化に向けた体制整備

- CASEにおける車の電子化需要に注力
- 東日本エリアにおける体制整備

環境

■ カーボンニュートラルをはじめとした環境ビジネス強化

- 工場CO2排出削減事業
- 水素ステーション機器納入業から設備元請事業へ転換
- FC発電機（産業用燃料電池製造など）
- 水素提供・利用（再生エネ利用水電解水素製造モデル実証実験）

エンジニアリング

■ エンジニアリング事業の競争力強化

- エンジニアリングビジネスの拡大
- 自社ブランド創出へ

Mission for Smile
～ みんなに笑顔を届けよう ～



Carbon neutral

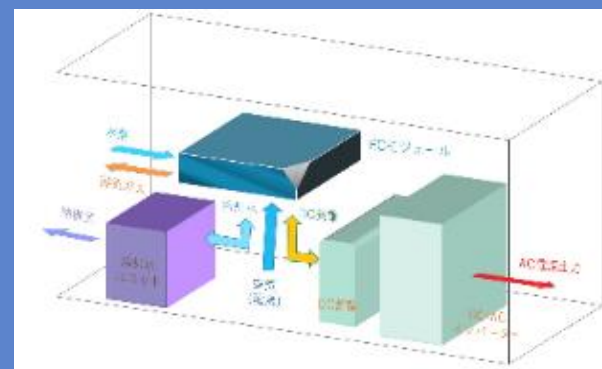
脱炭素の実現へ向けた明治電機工業の取組み

CO₂削減提案
(オリジナルパンフ
レットの作成)



水素ステーション
建設

@Iwatani Corporation



燃料電池(FC)
発電機
(開発中)

お客様、サプライヤーの成長戦略をリードする存在へ

海外

■ 海外ビジネスの拡大

- 企業の最適なグローバル生産体制へのベストな製品とサービスを提供
- 海外拠点に対する支援の強化

経営基盤

■ 新たな価値創造に向けた経営基盤の確立

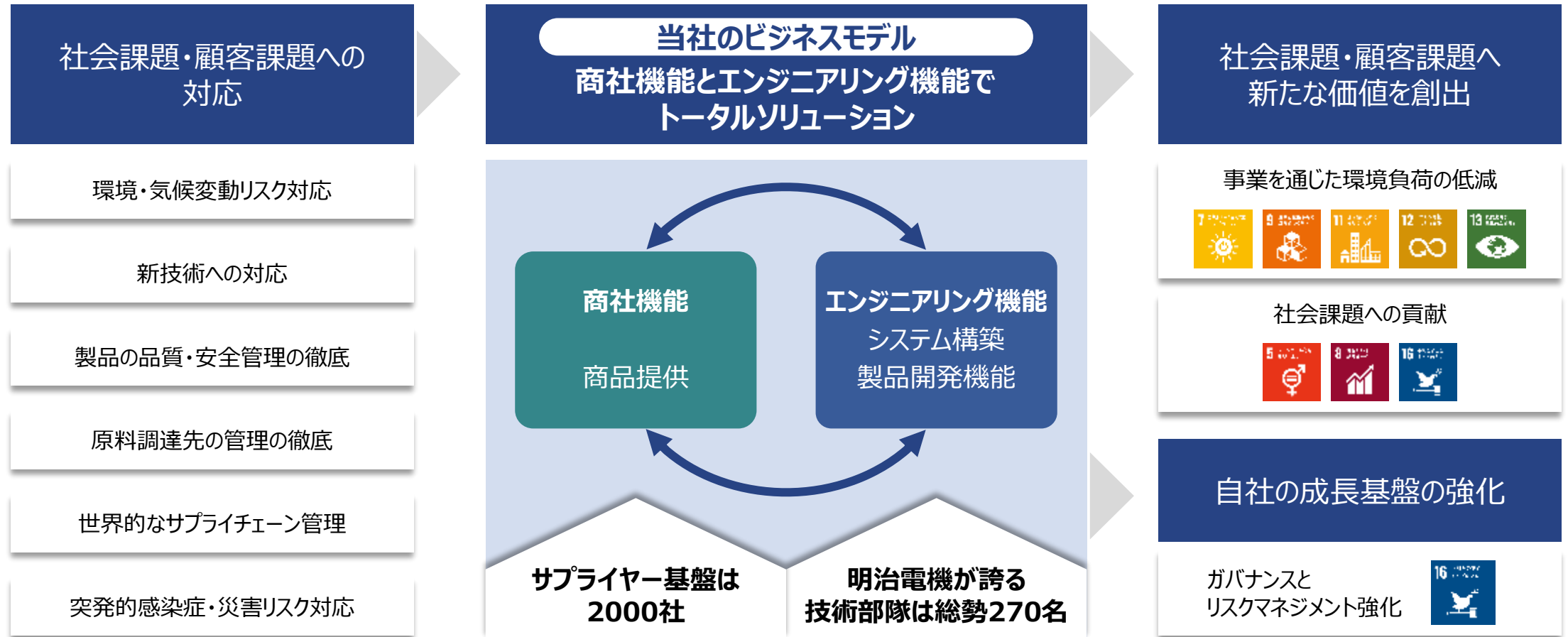
- 営業力と営業技術力の強化
- 競争力強化にむけたDX推進
- 社内活性化と風土づくり

SDGsを 意識した経営

■ 事業を通じた社会貢献

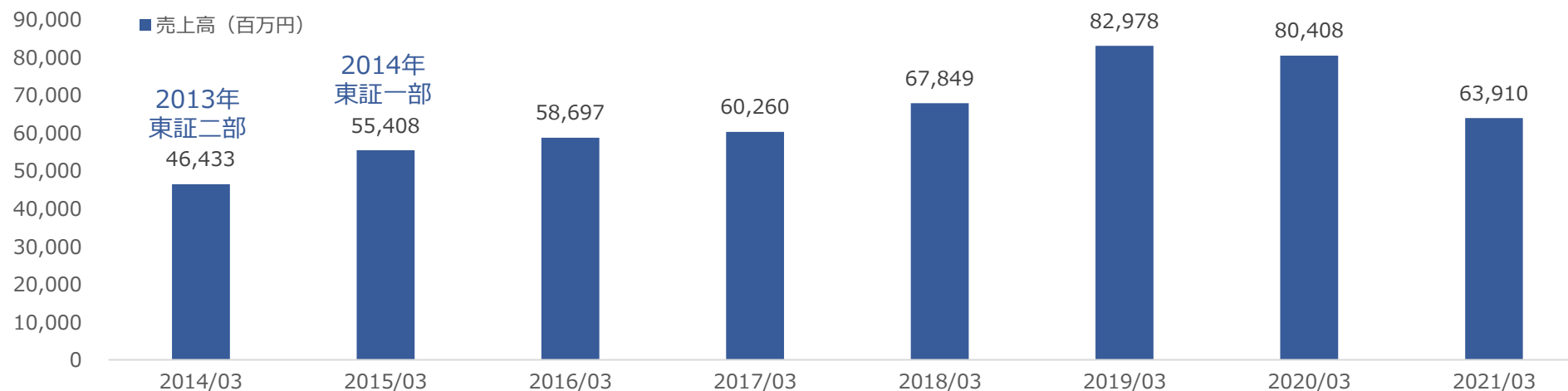


社会やお客様の課題を踏まえた事業戦略を推進し、 会社と社会の持続可能性を追求

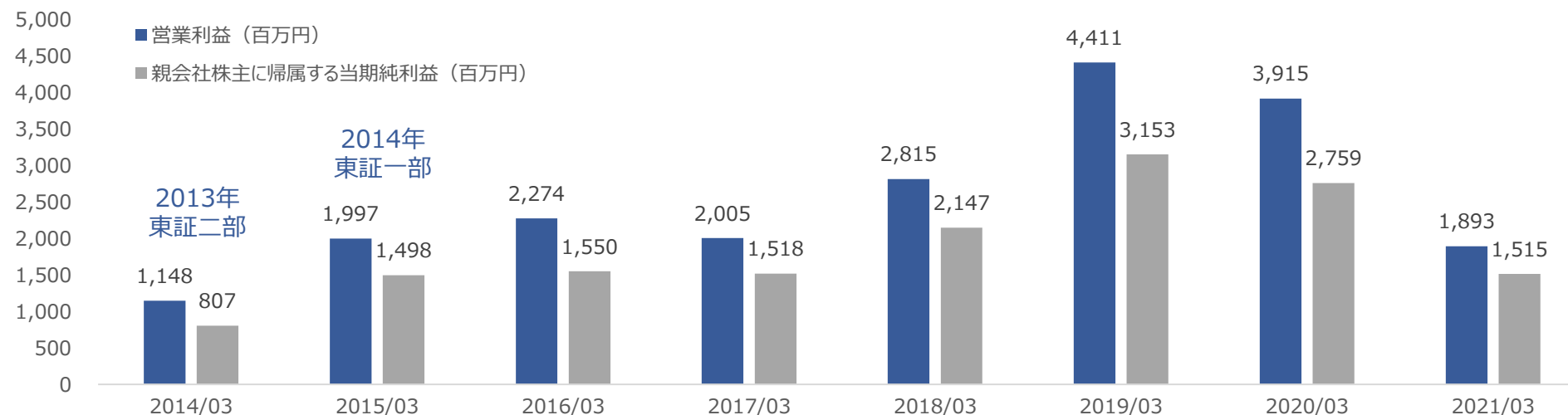


業績推移・株主還元

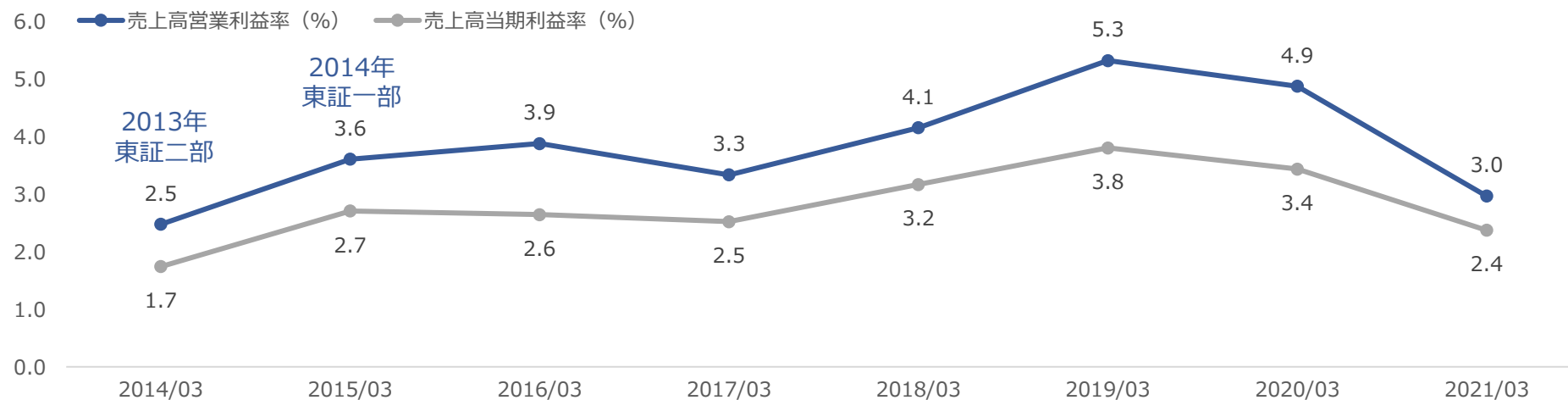
売上高



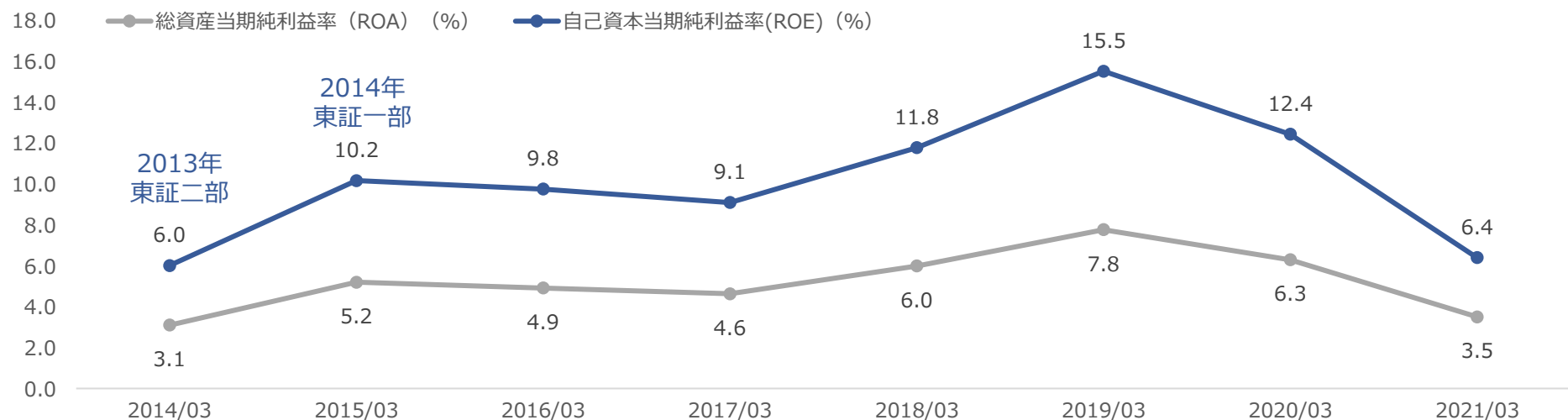
利益 (営業利益、純利益)



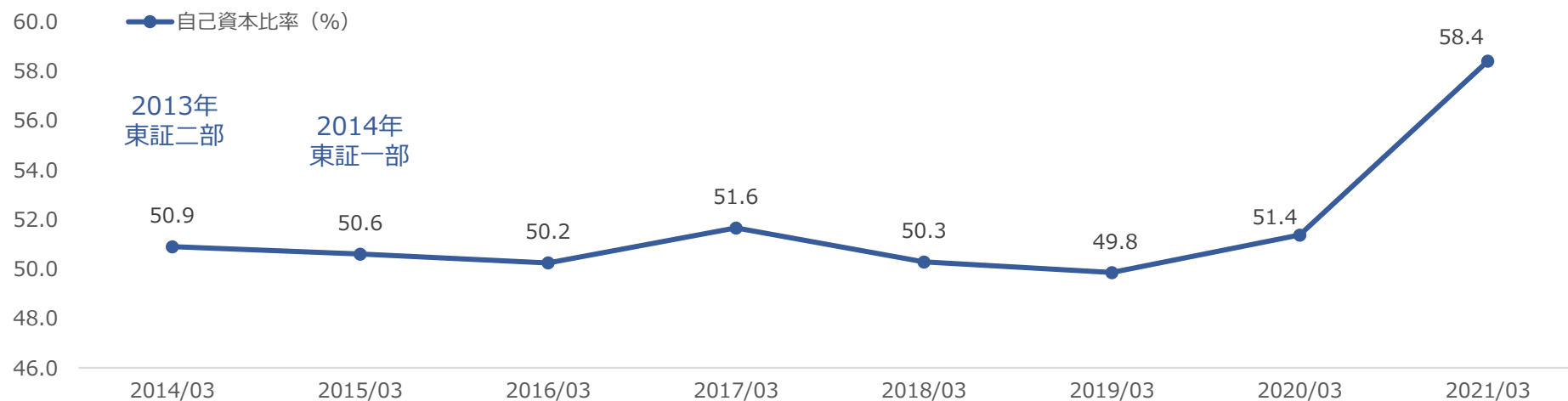
利益率（営業利益率、純利益率）



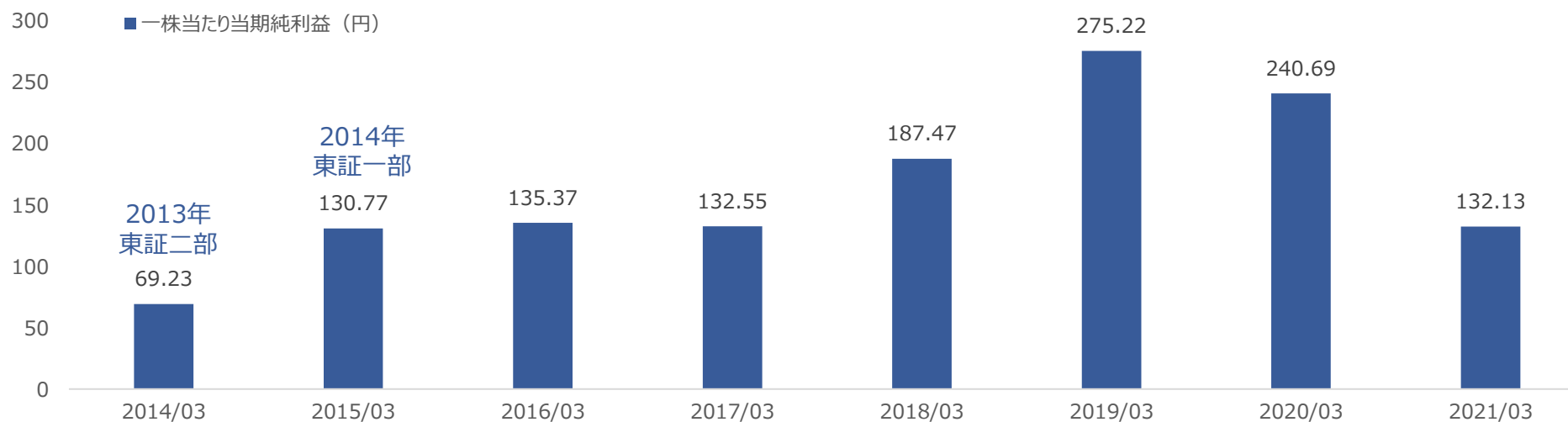
資本効率（ROA、ROE）



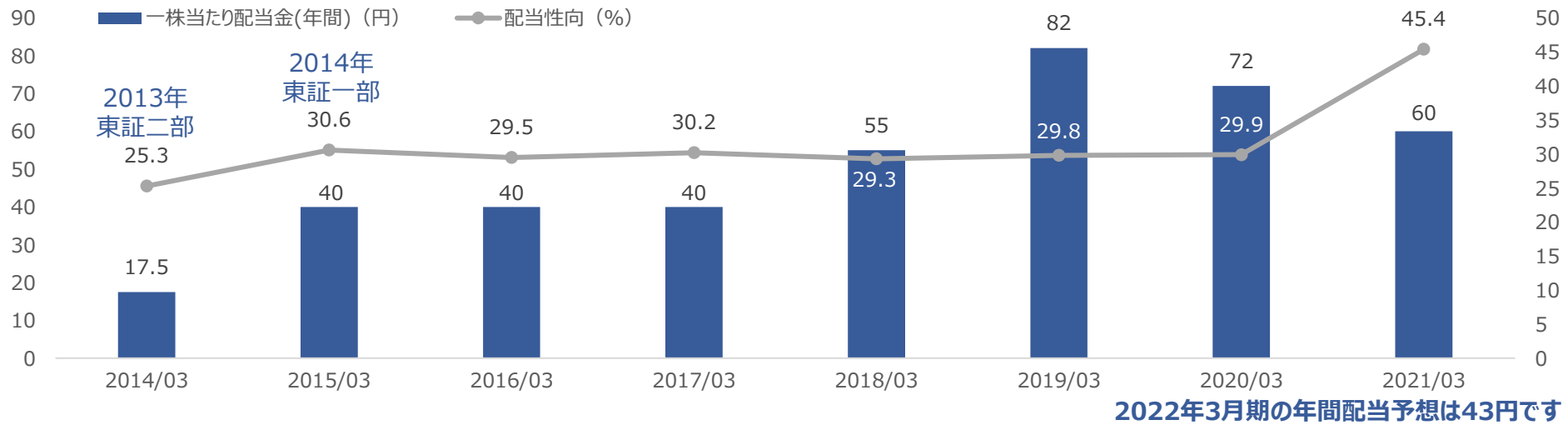
財務安定性（自己資本比率）



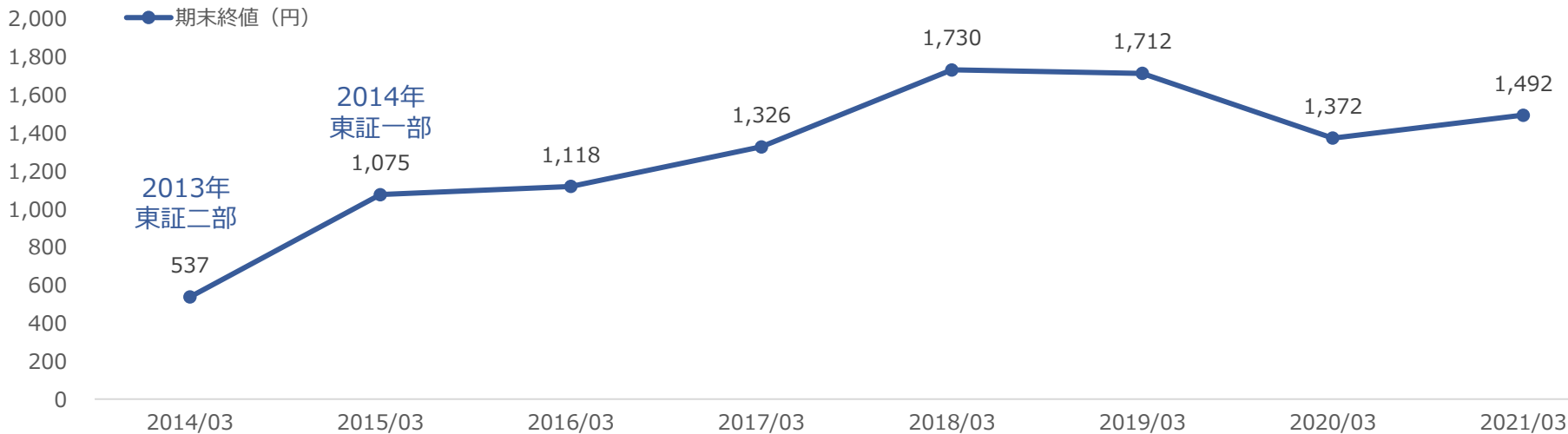
一株当たり当期純利益



株主還元（配当金、配当性向）



期末終値



- 明治電機工業は、様々な産業のFA（工場の自動化）を支える**トータルソリューションをワンストップ**で提供する、**エンジニアリング機能を持った商社**です
- 「**単なる商社は要らない**」というお客様のご期待に応えるためFAのトータルソリューション機能を構築しています
- **商社機能とエンジニアリング機能が最大の強み**
- ものづくりの**工程をトータルサポート**して競争力向上に貢献し、**必要不可欠な存在**としての地位を確立しています
- 高い目線（Vision）を目指す「Vision2030」で社内の行動変革へ
- 第10次中期経営計画（2022年3月期～2024年3月期）はFirst Stageとして、土台作りに注力しています
- **強みの強化と新規分野の開拓**でお客様、サプライヤー様の成長戦略をリードする存在へ

すべてのステークホルダーに楽しさを感じてもらい

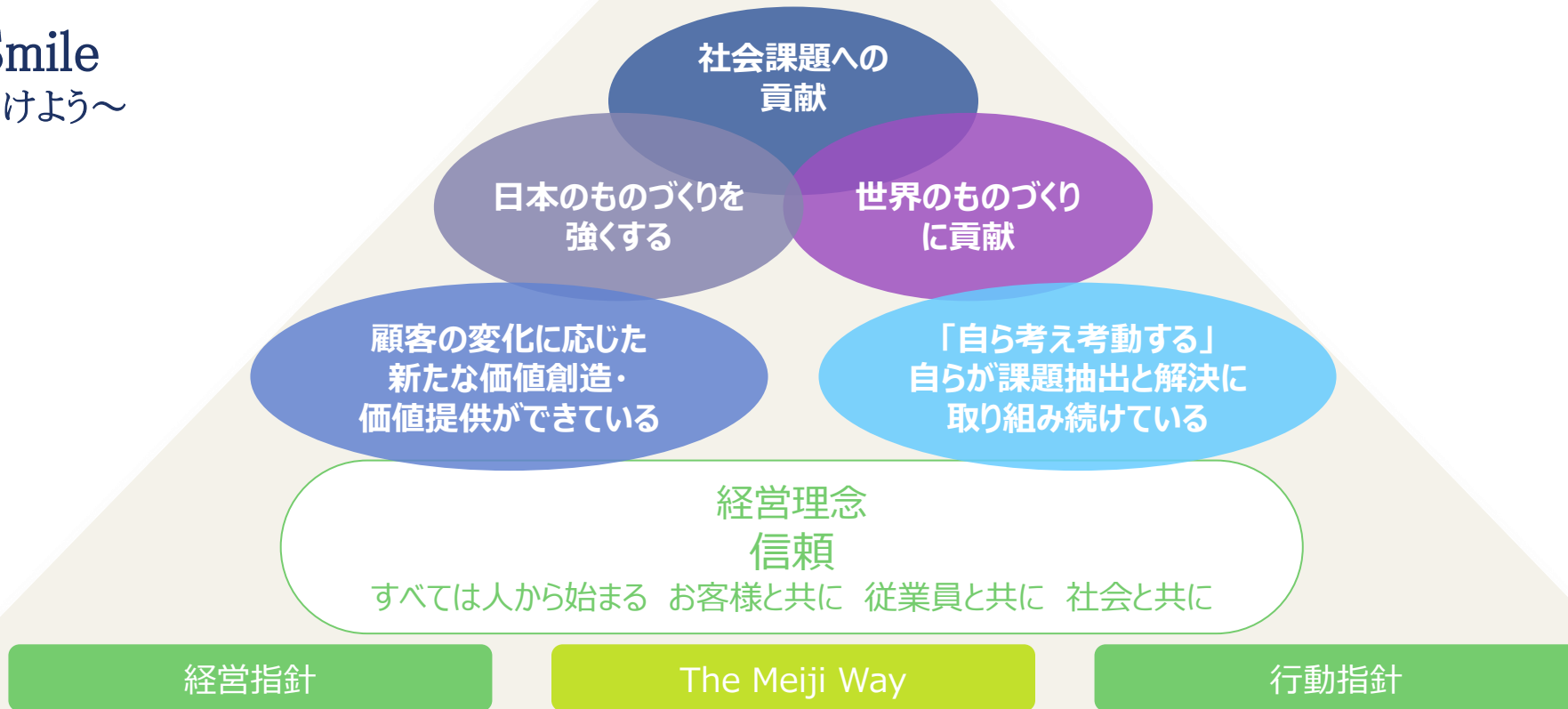
“明治電機が大好きです”

そう言ってもらえる存在を目指す

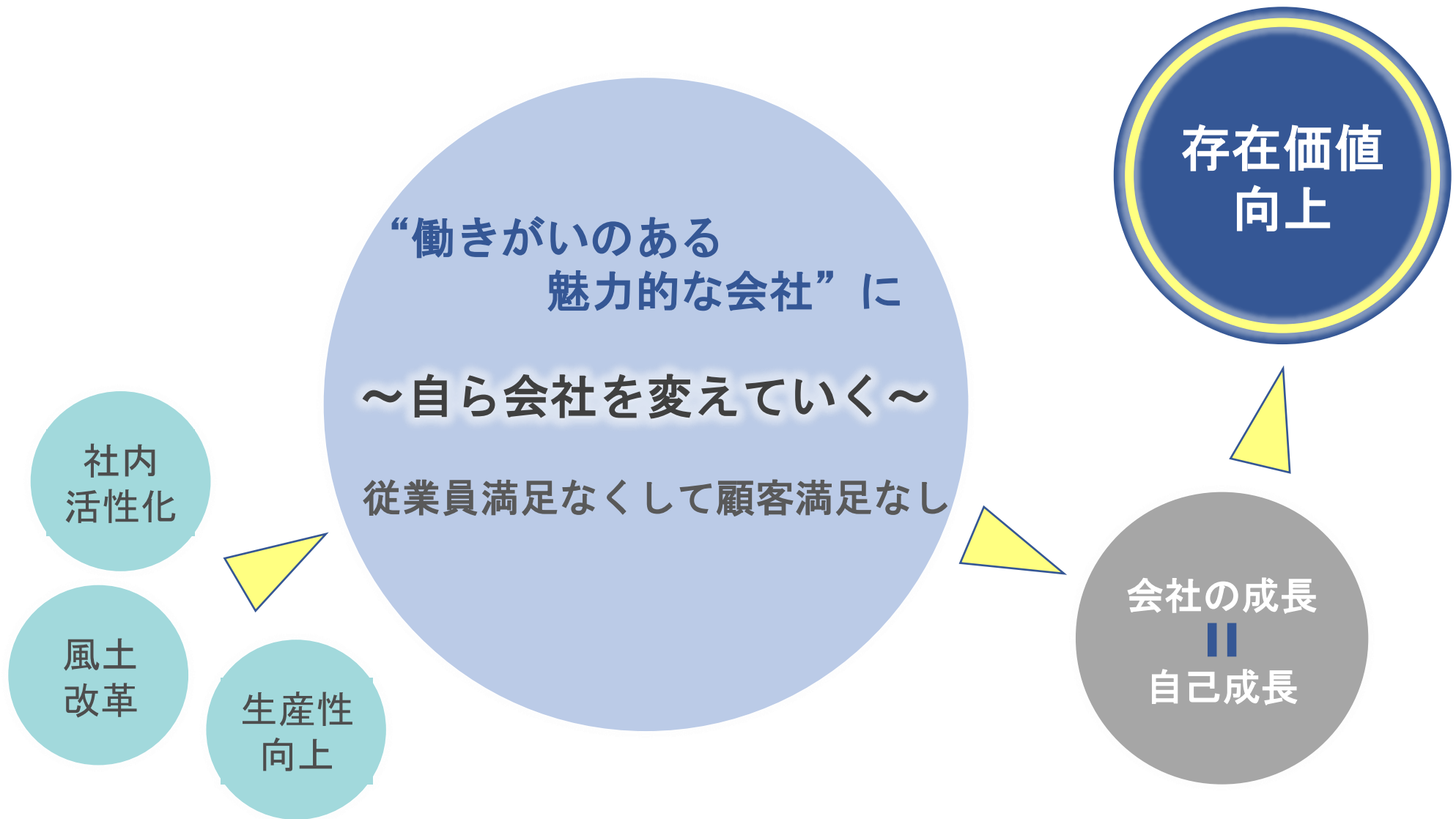
◇スローガン

Mission for Smile

～みんなに笑顔を届けよう～



“従業員満足なくして顧客満足なし”



ご清聴ありがとうございました。



本資料に記載された目標や予測等、将来に関する記載や記述があります。資料作成時点での当社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。